

「県短」創立70周年!

「県短」の愛称で親しまれている「鹿児島県立短期大学」は、鹿児島県の高等教育機関として、これまでにおよそ1万6千人の卒業生を送り出してきました。
さまざまな分野で活躍する人材を輩出し、地域社会の発展に貢献し続ける「県短」は、今年4月に創立70周年を迎えました。



正門と濃緑のクスノキが学生たちを迎え入れる



学生たちの憩いのスペース

約14万冊の蔵書を誇る附属図書館

バラエティに富んだ教育活動

少人数教育

少人数教育によるきめ細かい指導を行っています。学生と教員の距離が近く、アットホームな雰囲気での相談がしやすい環境があります。その結果、高い就職率やコンテストでの受賞などを実現しています。



授業の様子

IT教育

IT教育にも力を入れており、学内にはパソコン教室やパソコン自習室などが完備され、学生用のパソコンが160台以上設置されています。資格取得も可能であり、日商PC検定では、高い合格実績を誇っています。



パソコン演習の様子

海外研修

夏季休業中の2週間、希望学生を対象に、ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジで海外研修を実施しています。英語とハワイ文化を学ぶことができ、学生の満足度は非常に高いです。



海外研修の様子

学長・学生インタビュー



塩地 洋 学長 「国際化と郷土知を教育の柱に」

今年4月に県短に着任した新米です。生まれは和歌山で、祖父は鯉節の工場をしていました。1974年に京都大学入学以降、学部生、院生そして教員として41年間京都大学に在籍していました。教員時代は年に2か月程度は海外調査に出ており、自動車産業の国際比較をテーマに79か国、8000か所の現地取材を行い、各国のモータリゼーションの実情や自動車産業の国産化の相違を調査していました。そうした海外での経験をぜひ県短の学生に伝えたいと思います。また、国際人として海外で活躍するためにも自らのアイデンティティを知ることは重要です。県短の学生が地元鹿児島島の郷土知を深めることを重視していきたいと思っています。

文学科 英語英文学専攻 2年 前 里緒奈 さん 「チェスト!きばっど!」

私は、県短の自治会長をしています。今年はコロナウイルスの感染拡大防止のため、多くのイベントや行事が中止になってしまい、何も活動ができず悔しい思いをたくさんしました。しかし、鹿児島の偉人、西郷隆盛の言葉にこんな言葉があります。「幾度か辛酸を経て、志始めて堅し。丈夫玉砕して 軀全(せんぜん)を恥ず。」「何度もつらい思いをして人の信念というものは固まる。何もせず瓦のようにいることを恥じる。」という意味です。何もせずいることより、何か自分にできることはないかと、常に考えて生きていた西郷どんのように、私もこれからも県短を盛り上げていけるように精進していきます!チェスト!きばっど!



設置学科

設置学科は、昼間課程3学科6専攻、夜間課程1学科の充実した構成となっています。

昼間課程	文学科	日本語日本文学専攻 英語英文学専攻
	生活科学科	食物栄養専攻 生活科学専攻
夜間課程	商経学科	経済専攻 経営情報専攻
	第二部商経学科	

県短とは?

鹿児島県立短期大学(県短)は、鹿児島市下伊敷にある県内唯一の県立短期大学です。

1950年に鹿児島県立短期大学部として、文科、家政科、社会科の3学科で開学しました。翌年の1951年には社会科を商経科に名称変更し、夜間の第二部商経科と電気工学科(1953年に電気科に名称変更、1960年に廃止)を開設しました。1958年には県立大学の廃止に伴い、鹿児島県立短期大学が発足しました。

「県短」の特長は、少人数教育をはじめとするバラエティに富んだ教育活動です。また、大学では県内唯一の夜間部を設置しており、働く人などにも広く学びの門を開いています。

その他特別企画の実施

- ・70周年記念誌の発行
60周年記念誌を引き継ぎ、県短の9年間(2011年~2019年)のあゆみを掲載
- ・スイーツの商品開発
学生が企業と共同でスイーツを開発県内での一般販売も検討中
- ・70周年グッズの作成
記念ロゴを付けたのぼりや横断幕、文房具などの記念グッズを作成
- ・ホームカミングデーの実施
卒業生の方々に本学にお招きし、特別講演・模擬授業、施設見学などを実施



考案者 瀬戸口 芽依 さん (生活科学専攻 2年)



70周年を迎える県短。人と言うと70歳、古希になります。古希では、長寿と、もっと長生きすることを願って、紫の衣装でお祝いをします。県短は、これまで社会で花開いた皆さんの学生たちを見守ってきました。そんな県短に感謝の心をこめて、紫の花束をモチーフにデザインしました。

決定したロゴ



昨年、本学図書館ミニギャラリーにて70周年記念ロゴコンテストが行われました。本学の学生が作成した10作品の中から、学生、教職員の投票により、今回の記念ロゴが決定しました。

創立70周年記念事業

70周年記念ロゴの作成